



▲2017年ゴルフ新年会「ゴルフをみんなのスポーツへ」17団体の代表が登壇

JGRA NEWS

ゴルフ新年会

全日本ゴルフ練習場連盟

2017年1月20日（金）発行

ゴルフ新年会「ゴルフをみんなのスポーツへ」

取材・JGRA 広報委員会

1月18日（水）赤坂にあるANA インターコンチネンタルホテル東京において、日本ゴルフサミット会議主催の「2017年ゴルフ新年会」が開催された。日本ゴルフサミット会議はゴルフ関連17団体によって構成されており、当連盟もそのひとつだ。当連盟からは会長石井氏をはじめ、副会長や常任理事、事務局など総勢10名が参加した。会場は600人を越える参加者で埋め尽くされ、熱気に包まれていた。

新年会に先立ち、スポーツ庁長官鈴木大地氏による「スポーツの未来 開拓」と題する講演も行われた。スポーツによる国民の健康増進や国際競技力、国際的地位の向上、地域の経済活性化は、スポーツ庁の取り組むミッションである。ゴルフ関係者が一体となりゴルフ人口の拡大やゴルフ界

全体の活性化に向けた取り組みに期待していると述べた。また、ゴルフ場利用税の廃止に向けた取り組みにも期待し、スポーツ庁として応援する意向を示した。

当連盟の会長石井氏も登壇した17団体の代表者たちは、新年にふさわしく皆穏やかな表情であった。日本ゴルフサミット会議では、『20歳代後半から30歳代前半のゴルフ実施率の引き上げ』『選手強化』『イメージアップ』の3本柱を2017年の活動方針として打ち立てている。更に、ゴルフ場利用税廃止を求める運動や、国家公務員倫理規定における「ゴルフ」の削除、反社会的勢力の排除も掲げている。当連盟もこれに準じた活動を具体的に西（とり）組み、ゴルフ界を飛躍させよう。 [記事・加藤]



（一社）日本ゴルフツアー機構会長青木功氏
ゴルフ界のレジェンドと言えはこの人だろう。現在は、日本のゴルフツアーについて主管を行っている組織の会長でもある。



スポーツ庁長官鈴木大地氏
登庁時には13階の執務室まで階段を登り、自らの運動習慣に取り組んでいる。